

地元の図書館

清水希容子

一般財団法人日本経済研究所 地域未来研究センター 研究主幹

“図書館”は、公共施設のうち、もっとも私たちの生活に身近で人気のある施設だ。引っ越しをするなら、図書館の近くに住みたいという人も多い。

全国には、都道府県立61、市区立2,519、町村立588の計3,168の公共図書館がある。

図書館法には、だれもが無料で資料を利用できることが記され、蔵書の内容や量の規定はないため、公共図書館の充実度は、地方自治体の方針による。

都道府県別人口千人当たり受入冊数は、社団法人日本図書館協会の調査（2009年実績）によると、1位が福井県、2位が滋賀県、3位が山梨県であった（地図参照）。

都道府県立の図書館のなかで、来館者数、受入図書数のトップは、岡山県立図書館。新しい本が揃い、利用しやすいよう工夫がされ、木々と芝生の緑や噴水に囲まれた近代的な建物は陽当たりもよく、県民が集うオアシスとなっている。

かつて図書館というと、本を借り、勉強するだけのところという堅いイメージがあった。最近、ソファにゆったりと腰掛けて、雑誌や新聞を読みながら気持ちのよい時を過ごすことができる。

子供向けには、カラフルな図書コーナーと閲覧スペースがあり、読み聞かせ会のイベントに親子で参加し、母親同士の情報交換が行われている。“知っておこう非常時の知識”として、地震災害情報コーナーが素早く設けられるなど、生活情報も分かりやすく積極的に提供している。

利用者の違いにより、地域ごとにサービスに特徴がある。皇居横の都心に位置する千代田区では、お昼休みや会社帰りのビジネスマンが多いため、アク

セスしやすい高層の区役所庁舎内にあり、ビル内にカフェも併設され、夜10時まで開館している。農村地域の北海道置戸町では、約2千冊を積んだ図書館車・ブックモービルやまびこ号が、町中を毎日のように走っている。

図書館の魅力で忘れてはならないのが、情報のプロ・司書さんたちがいることだ。欲しい本の内容を相談すると親切に応じてくれ、候補となる資料を本棚から選んできてくれたり、図書館間ネットワークで日本中から本を探してくれる。彼らは地元情報にも精通している。

ほとんどの市区立および町村立の図書館には、地元情報を集めた郷土資料コーナーがある。町史、地元企業の社誌、学校の校誌といった、一般では入手しづらい書籍、文化人が地元へ寄贈した貴重な文献に出逢える。

茨城県のつくばみらい市立図書館では、つくばエクスプレス開通に関連した地元情報が集められた。書籍や雑誌のほか、運行会社の広報誌、新聞スクラップと記事を簡潔にまとめたデータベース、つくばエクスプレスに関する広告がのった折込チラシを整理したファイル、さらには開通時に配られたTシャツなどのグッズ類など、他では見られないものがあり、ここに来れば、つくばエクスプレス開通に関する情報を網羅することができる。

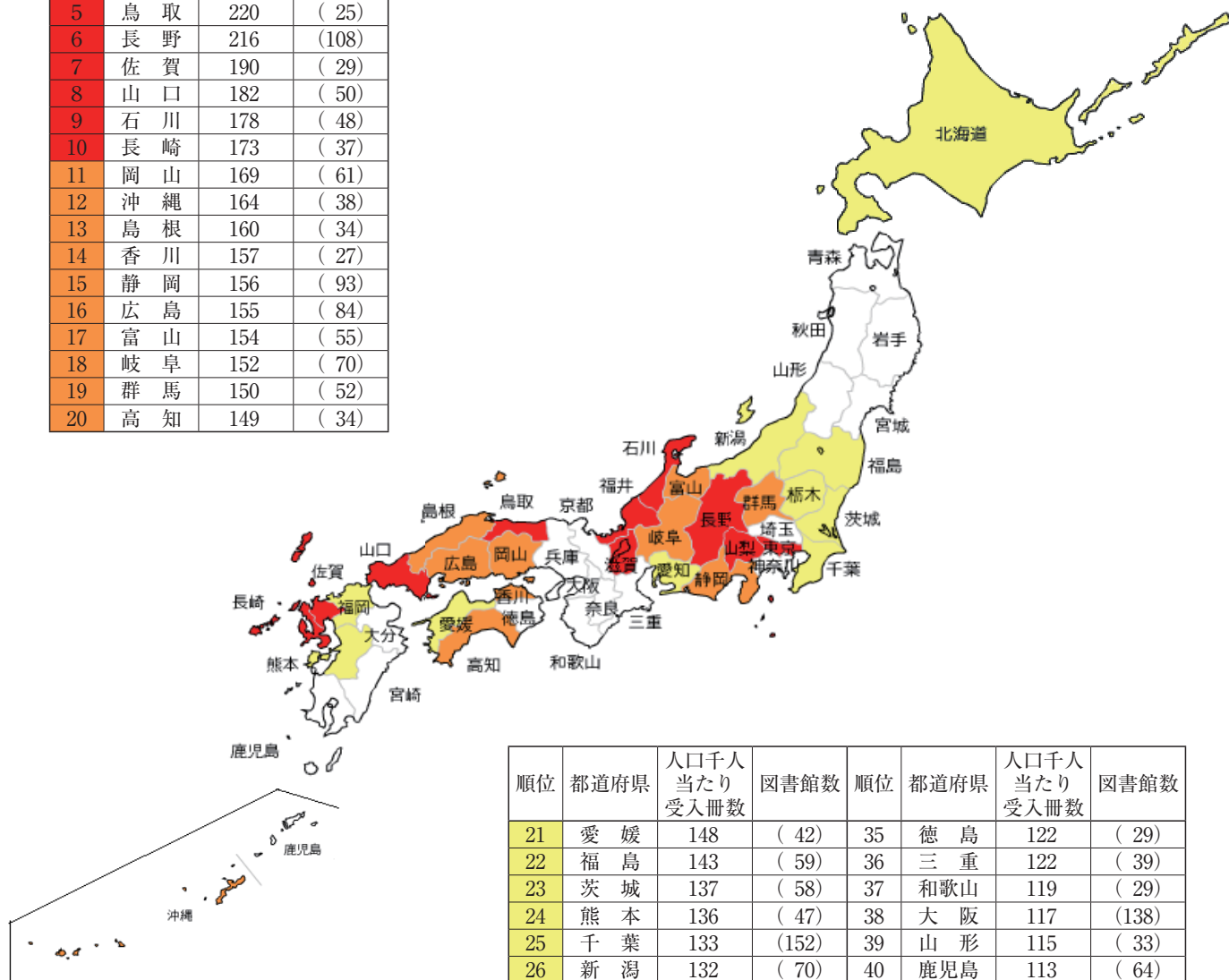
市民がまちづくりにかかわっていくうえで、地元情報の存在は、今後ますます重要となる。

図書館は、地域の未来をつくる、身近な情報の宝庫である。

公共図書館

人口千人当たり受入冊数（単位：冊）

順位	都道府県	人口千人 当たり 受入冊数	図書館数
1	福井	239	(36)
2	滋賀	232	(48)
3	山梨	231	(52)
4	東京	225	(383)
5	鳥取	220	(25)
6	長野	216	(108)
7	佐賀	190	(29)
8	山口	182	(50)
9	石川	178	(48)
10	長崎	173	(37)
11	岡山	169	(61)
12	沖縄	164	(38)
13	島根	160	(34)
14	香川	157	(27)
15	静岡	156	(93)
16	広島	155	(84)
17	富山	154	(55)
18	岐阜	152	(70)
19	群馬	150	(52)
20	高知	149	(34)



順位	都道府県	人口千人 当たり 受入冊数	図書館数	順位	都道府県	人口千人 当たり 受入冊数	図書館数
21	愛媛	148	(42)	35	徳島	122	(29)
22	福島	143	(59)	36	三重	122	(39)
23	茨城	137	(58)	37	和歌山	119	(29)
24	熊本	136	(47)	38	大阪	117	(138)
25	千葉	133	(152)	39	山形	115	(33)
26	新潟	132	(70)	40	鹿児島	113	(64)
27	栃木	132	(47)	41	宮崎	111	(26)
28	北海道	130	(143)	42	兵庫	110	(93)
29	福岡	130	(110)	43	大分	102	(30)
30	愛知	128	(93)	44	青森	97	(36)
31	埼玉	124	(155)	45	秋田	95	(49)
32	京都	124	(65)	46	宮城	83	(40)
33	奈良	123	(31)	47	神奈川	81	(81)
34	岩手	123	(46)				

* 受入冊数は2009年度実績、図書館数は2010年4月1日現在
 * 社団法人日本図書館協会『日本の図書館2010』より(財)日経研にて作成
 * 当地図は、地域未来研究センター「地域データ図書館」のホームページで拡大してご覧になれます